



## ダフニーハイテンプオイルRM

### ～光輝タイプセミホット油～

---

マルクエンチ用又はモディファイドマルクエンチ用焼入油はその使用油温が高いため、メッシュベルト炉油槽のように焼入油が空気に接触する場合は酸化劣化が激しく、比較的短時間で光輝性が悪化する場合があります。ダフニーハイテンプオイルRMは開放型油槽用に開発されたモディファイドマルクエンチ油であり、焼入油が空気に接触する状況下でも優れた光輝寿命を発揮します。

#### 1. 特長

- (1) 酸化安定性が優れ、特にスラッジを形成し難い特長を有します。
- (2) 苛酷な条件での使用により例えスラッジを生成しても、それは遠心分離機（又は濾過）で除去し易いため、比較的容易に光輝性を回復させる事ができます。
- (3) 酸化安定性が優れているため、冷却特性の経時変化の少ない焼入油です。

#### 2. 用途

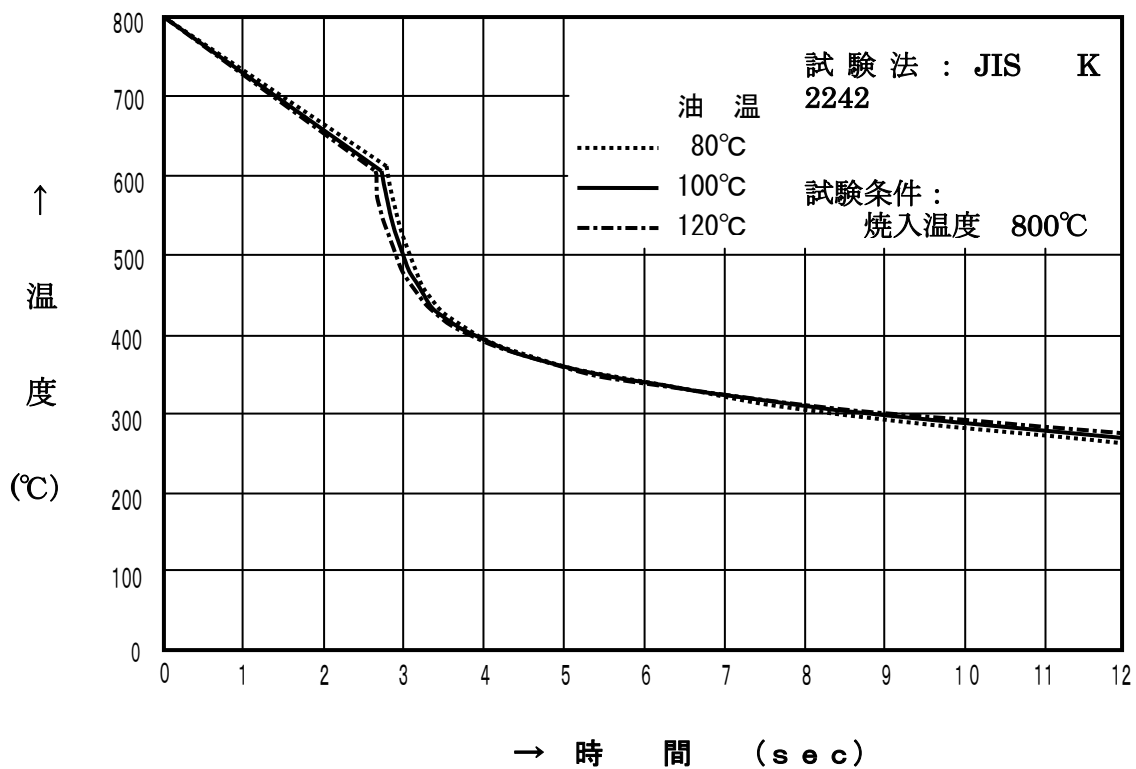
- (1) メッシュベルト連続炉やレトルト揺動炉でのベアリングレースなどの焼入れ。
- (2) 開放面をもつトレープッシャー連続炉（例えばトランスファータイプ）でのミッションギヤの浸炭焼入れ。
- (3) 鍍金を行う釘，ボルト，薄板ばねのような処理物で、歪を抑えたい場合。

#### 3. ご使用上の注意

- (1) 常用油温 70℃から 120℃でご使用下さい。70℃以下では粘度が高くなり均一な冷却が損なわれる恐れがあり、逆に 120℃以上では光輝寿命が著しく低下します。
- (2) 水分が 400ppm 以上混入した場合は焼入歪増大、焼きむら、焼割れの原因となますので脱水を行ってください。

## 4. 性状・冷却曲線試験例

項 目			分 析 値
色 相	(A S T M)		L 2.5
引 火 点	(C O C)	°C	238.0
動 粘 度	@40°C	mm <sup>2</sup> /s	66.42
	@100°C	mm <sup>2</sup> /s	9.1565
酸 価	mgKOH/g		0.18
焼入炭素分	wt%		0.42
焼入強烈度	120°C	cm <sup>-1</sup>	0.111



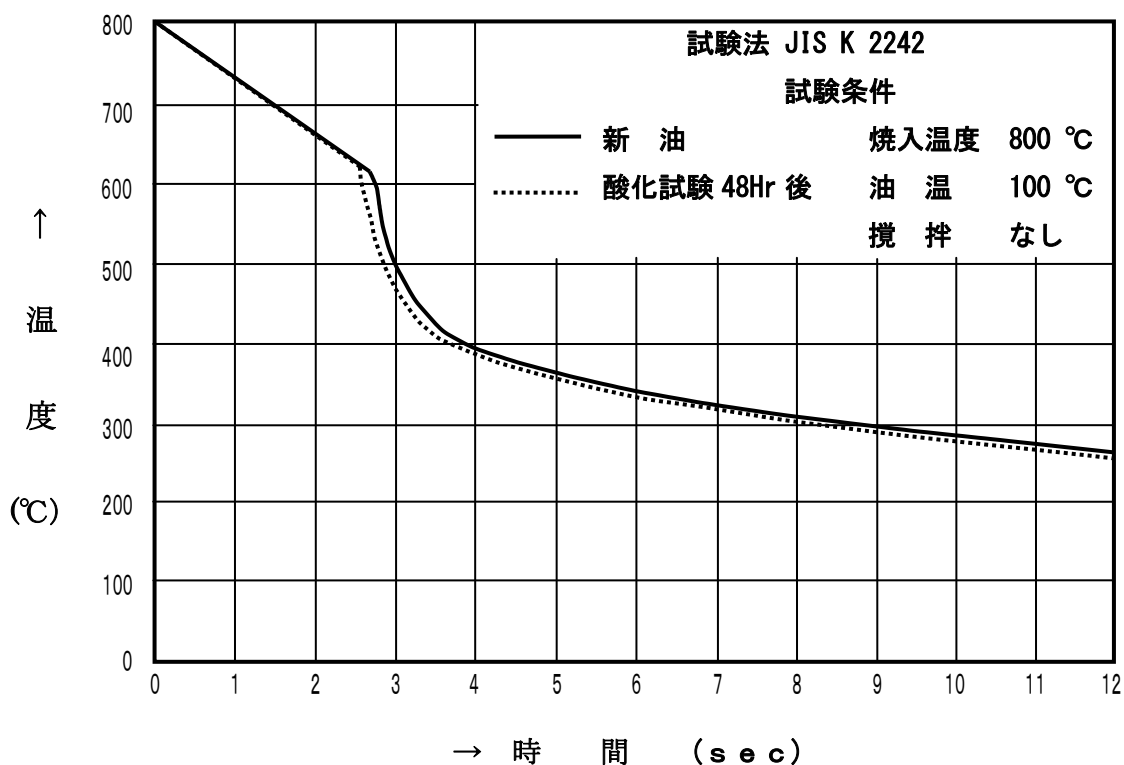
## 5. 酸化安定度試験

インディアナ酸化安定度試験

(1) 条件 : 温度 170℃  
 触媒 銅, 鉄  
 空気吹込量 10<sup>lit</sup>/Hr

(2) 結果

試験項目	試験時間	試験時間		
		新油	24時間	48時間
動粘度 @100℃ mm <sup>2</sup> /s		9.155	9.182	9.279
新油との比			1.00	1.01
酸価 mgKOH/g		0.18	0.38	0.65
残留炭素 wt%		0.42	0.54	0.50
n-ペンタン不溶解 wt%			0.01	0.01
冷却曲線 (H値) @120 cm <sup>-1</sup>		0.110	0.113	0.114
光輝度(明度) %		80	86	86



- 本商品の取り扱いについては、当該油種の「製品安全データシート」(MSDS)及び容器に記入の取り扱い注意事項を十分に熟読の上、ご利用下さい。
- 「製品安全データシート」は、ホームページ(<http://www.idemitsu.co.jp/lube/>)からダウンロードできます。
- ダウンロードできない場合には、製品購入先にご用命願います。
- 掲載の性状、性能等は弊社試験方法による測定値や知見であり、正確さや完全さを保証するものではありません。予告なく変更されることがあります。

出光興産株式会社 潤滑油二部 TEL03-3213-3146

潤滑油・グリースのお問合せは <http://www.idemitsu.co.jp/lube/> から「お問い合わせ」まで